

★ 学校 夜間 崎 釜ヶ崎 (復称) 65 才

「今夜の時間」「専断の夜」「階」

1. 「今年の抱負を語り合おう」

夜間学校文集の合評会も行ないます

■ 四日から仕事始めで、センターは開いたものの、まだまだ仕事は来ていない。昨日も現金は本組だけ、残りの出張も相変わらずケタオキばかり。当分は認定で食いつないでいる仲間も多いと思います。

■ 昨年は、総じて仕事は少なく、春先からガタ落ち、秋になっても伸び悩み、停滞していました。二の傾向は、軍事費増大、公共事業削減、福祉切り

● 夜間学校とは…
我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰れもがいつかは必ずぶつかると、いんの問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を皆の力で解決していく

捨てる右傾化政策により、今年も続くものと思われれます。

■ そこで、今年初めの夜間学校にあり、他く仲間はこの一年をいかに乗り切るか、またいかに生きるか、するわち、二の一年をかけた二此これしかじかのことをやってみたい等々の年廣を語りあいたいと思います。

■ 「ワシはそんな抱負をぞ、ひとかけらも持ちあわせておらん」という人

為に、先生と生徒の関係でなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いに知識と経験を通して学び考え合う自由な場です。
是非多くの仲間が参加して下さい。
又、運営にも積極的に参加して下さい。

も、二の機会に少しでもこれに思いのぐらうのは、決して無駄なことではないと思います。

■ また、夜間学校では、先月末に文集を作りました。教人から寄せられた原稿をもとに、実質工事で仕上げたため、不十分な点も多々あると思います。が、二此も当夜間学校の一つの成果です。また見ていない人は、ぜひ一読をお願いいたします。

■ 今夜は、この文集についても、みんなでもう一度目を通し、それぞれ感想なり、意見なりを述べあい、合評会も行ないたいと思います。

■ 多くの仲間が、気軽に参加して下さい。会場費等の金は一切ありません。

労働・医療相談

受付中

越冬突では、毎朝六時半より、相談をしています。場所は医療センター前です。相談のある人は、こちらへ来て下さい。

(仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース

第62回報告テーマ: 労働と医療

病気は釜の諸矛盾の結果

あきらめず、皆で闘う姿勢をもとう

昨年、12月17日には、越冬を始めるにあたり、「越冬」について、特に医療を中心に話し合いました。

過去、5年間の青カン者数統計グラフを見ると、毎年、12月29日〜30日に青カン者が集中しています。臨泊があるからといって、青カン者がなくなるということはありません。この事は、受け付けの仕方が、真に必要な人の意をくんでいないということを意味しています。

青カンをしている労働者に多い病気は、労働の問題と密接に結びついています。

結核についてみると、強度の労働、飯場・ドヤの不衛生な環境、劣悪な作業環境・栄養の片より、等の要因が重なり、発病すると考えられます。また、釜ヶ崎に長い間住んでいる労働者は

どかかりやよいようです。

話し合いの中から、なぜ酒を飲むのかということもできました。昨年度の越冬期間中の青カン者対象のアンケート調査によると、第2番めに、肝臓障害があげられていました。アルコールの問題は、肝臓障害だけでなく、結核とも結びついています。

病気になるということとは、釜ヶ崎をとりまく諸問題の一つの結果だと思われま

す。他人ごとではなく、一人一人が問題を背負わされて生きている限り、自分自身の身におよぶかわかりません。

自らの身体を守るためには、自分自身に背負わされている諸矛盾と取り組む姿勢が必要ではないでしょうか。そして、

そのような姿勢をより多くの仲間が、共に持つとき、釜ヶ崎は少しづつ変えられるのです。

クリスマス会 1年忘れ会

12月25日には、約30名の仲間が集まりました。われわれもクリスマスを楽しみました。飲み放題・食べ放題で、歌をうたいながらすごしました。

12月31日の大晦日には、今年を振り返ると共に、来年の抱負について話し合いました。クリスマスに比べれば、よいなごやかなふん意気でしたが、仲間の参加が少し、少なかったのが残念です。来年は、もっと多くの仲間とやりたいものだ、と思ったことでした。

(仮称)夜間学校運営委員会準備会
西成区萩の茶屋2の8の18・喜望の家内
電話 (06) 64713946

●毎週木曜日夜7時から9時まで

